

## 株主優待

毎年3月31日(中間期末日)現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有されている株主さま1名につき、当社オリジナル製品「GREEN WOOD手造りジャム」1セットを贈呈いたします。家庭でつくるように、果実と糖と果汁のみで煮詰めました。果肉たっぷり、当社が自信をもってお勧めする製品です。

### 所有株式数100株以上

- いちごジャム ●ブルーベリージャム
  - オレンジマーマレード
- (各320g) **2,200円相当**



### 所有株式数1,000株以上

- いちごジャム
  - ブルーベリージャム
- (各530g) **3,820円相当**



3月31日(中間期末日)現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主さまが優待の対象

6月上旬に株主優待発送



## 第72期 報告書

平成29年10月1日から平成30年9月30日まで



トップメッセージ	1
グループミッション/長期ビジョン	2
事業内容	3
連結決算概要	4
主要な事業の概況	5
連結財務・業績ハイライト	6
特集 西宮なでしこプロジェクトのあゆみ	7
ニュース・クローズアップ	9
連結財務諸表	11
個別財務諸表	12
会社情報	13
株式情報/株主メモ	14



<http://www.katosangyo.co.jp/>

加藤産業株式会社

証券コード：9869



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第72期における食品流通業界は、雇用環境及び所得環境は堅調に推移しておりますが、日常の生活関連消費については節約志向が根強く、生活防衛意識の強さが続いています。一方で、消費者の生活スタイルの変化等による食生活や購買行動の多様化も見られ、小売業の業種・業態を超えた競争がますます激しくなり、さらに、人手不足や燃料価格の高騰などに伴う物流を中心としたコスト負担も大きい中で、6月以降には相次いで自然災害も発生し、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況下において加藤産業グループは、グループミッションである『豊かな食生活を提供して人々の幸せを実現すること』を目指して、卸売業としての基本機能である営業と物流が連携を取りながら総合力を発揮し、提案型営業の質を向上するなど卸売業としての営業機能を強化するとともに、取引先との取組みを強化し、また、自社ブランド商品の開発・拡売により収益の確保を図ってまいります。加えて、物流業務の効率化や業務改革の推進に取り組むことで生産性を向上し、コスト削減及び経営の効率化を進めてまいります。

さらに、今後は海外事業を当社グループの成長戦略の一つとして位置づけ、マレーシア・シンガポール・ベトナム・中国国内での食品卸売事業の展開を図り、日本を含めたアジア地域における事業の拡大に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年12月



代表取締役社長 加藤 和弥

社 是

能力を啓発し機能を充実し  
生販両層にとって最も価値  
ある存在として周囲の人々の  
生活を豊かに実らせ 其處に  
社会性を有する企業として  
永遠の発展を礎きあげる。

加藤産業グループが次のステージへ挑戦するための、私たちの社会的使命と事業領域を定めた「グループミッション」「長期ビジョン」

私たちのミッションは、「豊かな食生活」を提供して、  
人々の幸せを実現すること。  
私たちの全ての活動・取組みは、このミッションの達成を目指す。

Mission

私たちのミッション(使命)は、  
食の生産の源となる自然の恵みを大切にし、  
誰でも、安全で安心な商品が手頃な価格で手に入り、  
季節性・地域性に富んだ多様な食を楽しみ、食文化を継承し、  
育むことで家族の団らん・人々の絆を強め、  
健康で健全な生活に貢献するような「豊かな食生活」を提供し、  
人々の幸せを実現することです。

私たちのミッションを達成するための長期ビジョン(未来像)

Vision

「食のインフラ」になる

商品、情報、ロジスティクスの総合力を発揮して、生活者の豊かな食生活を支える基盤を作る

「食のプロフェッショナル」になる

食品流通に携わるプロとして知識を蓄え、スキルを磨き、生活者に豊かな食生活を提供する

「食のプロデューサー」になる

生活者が豊かな食生活を実現するために、「つなぎ」を実現し、「食」が持つ価値を創造する





Private Brand

プライベートブランド

消費者や小売店さまの多様なニーズにお応えするために、独自で商品の開発・製造・輸入を行っております。

Merchandising

お客さまの買いたい商品を取り揃える商品調達力

(マーチャンダイジング)  
総合食品卸売業として、4,000社を超えるメーカーさまと取引をし、幅広い品揃えの商品を小売店さまに卸しております。

Logistics

適切な時に適切なものを運ぶ物流システム

(ロジスティクス)  
高度な物流技術で、必要な時に必要なものを必要な量だけ小売店さまにお届けしております。

Retail Support

お客さまのニーズにあわせた売り方や商品陳列を行う売場計画力(リテールサポート)

消費者のトレンドに基づいて小売店さまの売場計画を立て、実行する。こうしたきめ細かい売場づくりのサポートをしております。

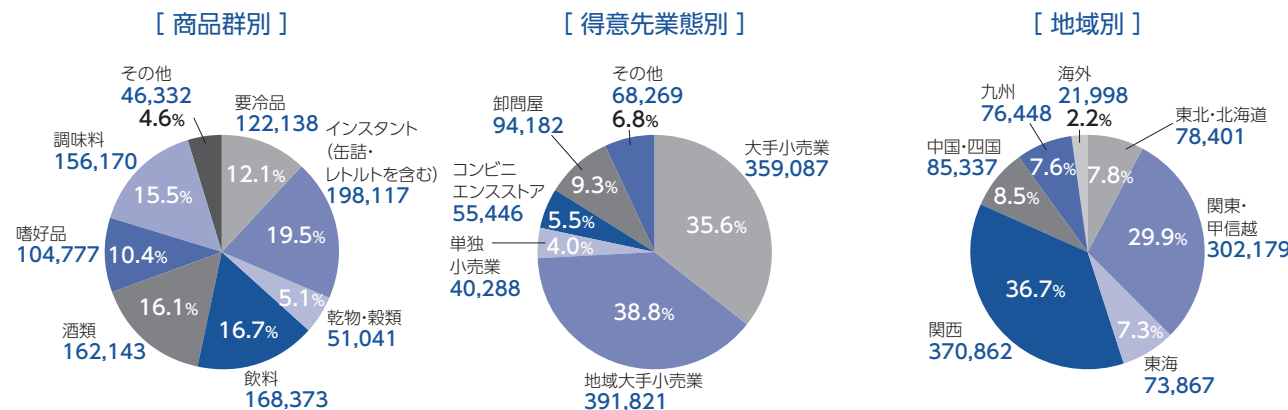


連結売上高 1兆 90億95百万円  
 連結経常利益 115億35百万円

卸売業の役割である「つなぎ」と自販力を基盤とした営業機能を強化し、価格だけに頼らない価値の提供に取り組むとともに、業務の効率化や生産性向上等のローコストオペレーションを進めてまいりました。

	前期	前期比	来期(第73期) 予想	前期比
売上高	1兆 90億95百万円	3.6%増加	1兆 500億00百万円	4.1%増加
営業利益	101億92百万円	9.6%増加	103億00百万円	1.1%増加
経常利益	115億35百万円	10.7%増加	117億00百万円	1.4%増加
親会社株主に帰属する当期純利益	70億5百万円	3.1%増加	72億00百万円	2.8%増加

売上高構成(単位:百万円)



# 主要な事業の概況

Segment Review

## 常温流通事業 (常温ドライ、家庭用食品)

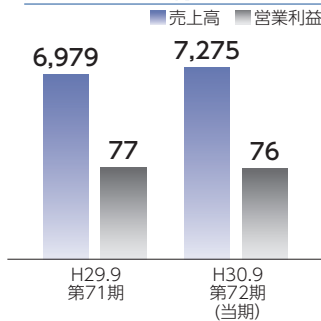
売上高 **7,275億72百万円**

前期比**4.2%**増加 ↗

営業利益 **76億48百万円**

前期比**1.4%**減少 ↘

売上高 & 営業利益 (億円)



常温流通事業は、価格だけに頼らない価値の提供に取り組むために、仕入先と連携しながら得意先との関係強化を一層深めるとともに、自社ブランド商品の開発・販売においても価値訴求を進めると同時に、業務の生産性向上に取り組むことで諸経費の抑制に努めましたものの、Lein Hing Holdings Sdn. Bhd.の株式取得に関連する費用等により増収減益となりました。

## 低温流通事業 (チルド、冷凍、外食用食品)

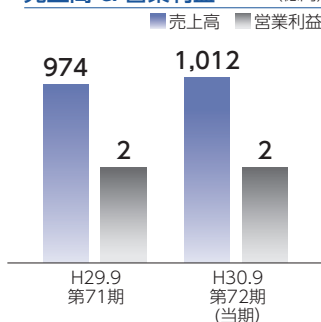
売上高 **1,012億93百万円**

前期比**4.0%**増加 ↗

営業利益 **2億16百万円**

前期比**6.8%**減少 ↘

売上高 & 営業利益 (億円)



低温流通事業は、小売業の業種・業態を超えた競争が激しくなる中で、積極的な商品提案により売上拡大及び利益改善に努めるとともに、業務改善によるコスト抑制に一層注力したものの、物流費の高騰等により増収減益となりました。

## 酒類流通事業

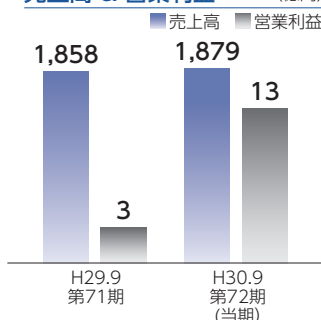
売上高 **1,879億14百万円**

前期比**1.1%**増加 ↗

営業利益 **13億4百万円**

前期比**286.4%**増加 ↗

売上高 & 営業利益 (億円)

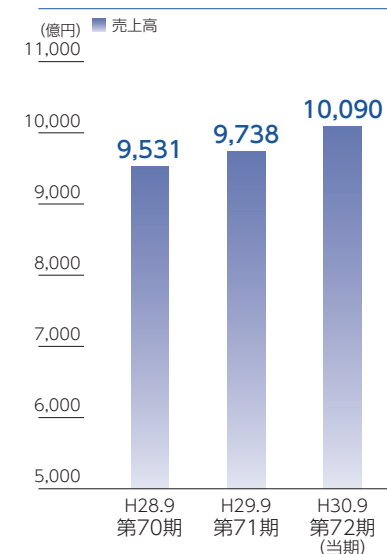


酒類流通事業は、消費者の低価格志向と上級化・上質化への需要移行の二極化が一層鮮明になる中で、主要取引先との取組みや利益商材の拡売など自販力及び提案型営業の強化を図るとともに、商品毎の利益管理を徹底し、生産性向上やコスト削減によるローコストオペレーションにも取り組んだ結果、増収増益となりました。

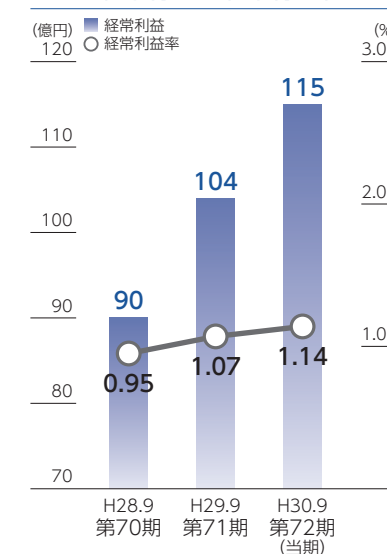
# 連結財務・業績ハイライト

Consolidated Financial Highlights

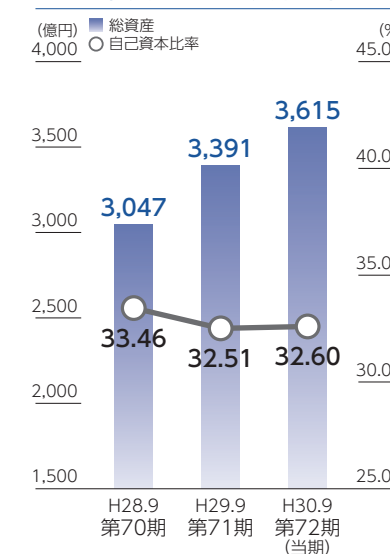
売上高



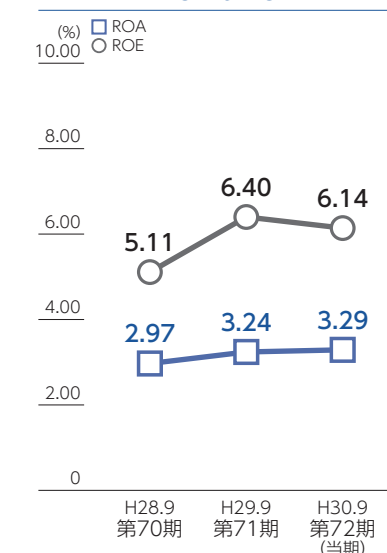
経常利益 & 経常利益率



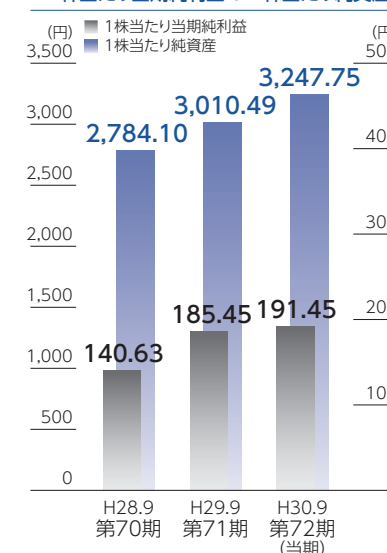
総資産 & 自己資本比率



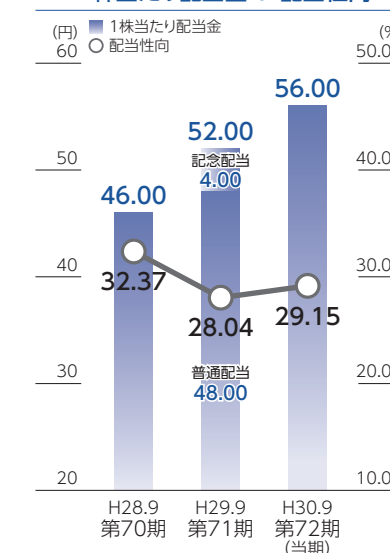
ROA & ROE



1株当たり当期純利益 & 1株当たり純資産



1株当たり配当金 & 配当性向



※上記の売上高及び営業利益には、各事業間の内部取引を含めております。

2013年よりスタートした、当社女性社員による商品開発チーム「西宮なでしこプロジェクト」が今年で5年を迎えました。当社は創業当初から約60年間、自社ブランド商品の開発を進めてまいりましたが、時代のニーズに合わせ、女性目線での価値ある商品の開発を目指して「西宮なでしこプロジェクト」が発足いたしました。「生活者の視点に立ち、思わず買いたくなるような商品を」という想いのもと、商品開発に取り組んでおります。

## よくばりDeliシリーズとは



『よくばりDeli』は、仕事・子育て・プライベートに忙しい、時間がない、全てをこなしたい、欲張りたい、雑にすませたくない…そんな“忙しくてよくばりな女性”のために、『おなかまんぞく ところまんぞく』をコンセプトとして女性のあらゆるニーズに対応したよくばりな商品です。

## 「スプーンメンチカツの素」を新発売

今春に発売し、ご好評いただいております「スプーンコロケの素」のシリーズ品として、本年9月より「スプーンメンチカツの素」を発売いたしました。具材を丸めて成形したり揚げたりせず、簡単・お手軽にメンチカツができあがります。スプーンですくって食べる新しいメンチカツをぜひ一度お試しください。



【規格】2~3人前(80g)  
【希望小売価格】200円(税別)

### 「スプーンメンチカツの素」のお勧めポイント

- 👉 **手間減**……………揚げ油不要、成形不要、破裂しない
- 👉 **時間減**……………時短メニューとして平日の夕食にも
- 👉 **洗い物減**……………お片付けも楽チン
- 👉 **カロリー減**※……………揚げないのでヘルシー
- 👉 **味付けで悩まない**……………食材と混ぜるだけで味が決まる
- 👉 **好きな分だけ**……………好きなだけスプーンで取り分け可能
- 👉 **見た目にインパクトあり**……………夕食のメインに、パーティーに

※カロリー30%オフ(一般的なメンチカツと比較して(日本食品標準成分表より))



詳しくはこちらの紹介動画をご覧ください



2013年5月  
西宮なでしこ  
プロジェクト発足



2014年11月  
「PASTA HARUSAME」  
シリーズ発売

2015年8月  
「茶わん蒸しの素」  
シリーズ発売



2017年9月  
「おうちでカンタン!キッシュ用ソース」発売  
「ソイポタ」シリーズ発売



左：ごぼうと豆乳の和風ポタージュ  
右：かぼちゃと豆乳のクリーミーポタージュ

2018年3月  
「スプーン  
コロケの素」発売



2018年9月  
「スプーン  
メンチカツの素」  
発売

今後も魅力ある  
商品開発に取り組んで  
まいります

## 「カンピー 果実百科」シリーズ新発売

この度、当社の代表的なブランドである「カンピー」から、新商品のフルーツスプレッド「果実百科」シリーズを発売いたしました。

近年ではジャム市場が横ばいの状況にある一方、健康志向を背景として、砂糖不使用であることやみずみずしい果実感が消費者のニーズにマッチし、フルーツスプレッドが大きくシェアを伸ばしております。この度発売の「果実百科」シリーズも、砂糖を使用せず果実由来の原料のみで製造することにより、フルーツのさわやかな風味をそのままお楽しみいただける一品となっております。定番のいちご、オレンジに、お客さまから多くのご要望をいただいたミックスベリー、パイナップルを加えた4種で展開しております。甘さ控えめの低糖度(糖度38度)に仕上げしており、定番のパンやヨーグルトのトッピングとしてだけでなく、果実の代替えとしても幅広くご使用いただけます。



【規格】各190g  
【希望小売価格】各300円(税別)

## 「カンピー」公式Instagram (ID:kanpy0822)

「カンピー」ブランドでは、人気SNS「Instagram」に公式アカウントを開設しております。各商品の紹介やアレンジメニューのご提案など、より多くのお客さまに「カンピー」ブランドの魅力を知っていただけるよう情報を発信してまいりますので、ぜひご覧ください。

<https://www.instagram.com/kanpy0822/>



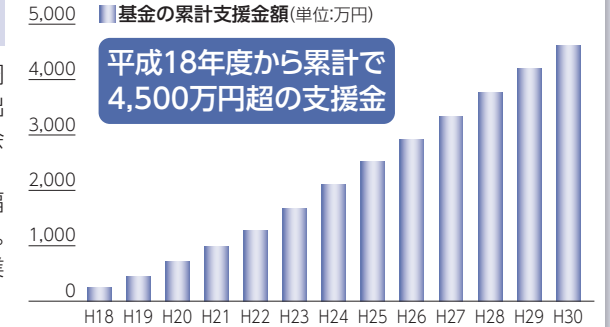
## CSRへの取り組み

### グリーンウッド基金

当社の従業員が自主的に行っているクリーン活動(事務所周辺地域の清掃活動)を会社が支援する仕組みで、賛助金を拠出し積み立てる「KATOグリーンウッド基金」を設立し、幅広く社会に役立てております。

この活動は平成18年度から開始し、当社拠点付近の社会福祉法人をはじめ、NPO法人等への支援を継続してまいりました。

今後も従業員による地域活動を通して、社会に貢献する企業を目指してまいります。



### 工場見学・環境学習

当社の生産部門である乾物部、上郡工場及びグループ会社の和歌山産業では、地域の皆さまへの感謝の気持ちを込めて、近隣の小学生の工場見学を受け入れています。さらに、社会学習の一環として、「ごみの分別」や「リサイクル」などに関する環境学習も併せて実施しております。

今後も子どもたちに工場見学を通して「食の大切さ」、「環境への取り組み」について伝えてまいります。



## 自己株式の取得

当社は、株主還元の充実及び資本効率の向上を図るため、自己株式の取得を実施いたしました。

- (1) 取得した株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得した株式の総数 50万株  
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 1.36%)
- (3) 株式の取得価額の総額 1,813,998,000円
- (4) 自己株式の取得期間 平成30年8月10日から平成30年10月23日まで

なお、取得の結果につきましては、当社ホームページ(<http://www.katosangyo.co.jp/>)にて掲載しておりますので、ご覧ください。

# 連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

# 個別財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表 (単位：百万円)

科目	当連結会計年度 平成30年9月30日現在	前連結会計年度 平成29年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	249,942	235,261
固定資産	111,632	103,895
有形固定資産	42,632	44,153
無形固定資産	5,633	5,724
投資その他の資産	63,366	54,017
資産合計	361,575	339,156
<b>負債の部</b>		
流動負債	224,756	212,345
固定負債	14,783	13,348
負債合計	239,540	225,693
<b>純資産の部</b>		
株主資本	100,364	96,679
資本金	5,934	5,934
資本剰余金	8,760	8,760
利益剰余金	89,883	84,966
自己株式	△4,213	△2,981
その他の包括利益累計額	17,491	13,596
その他有価証券評価差額金	17,188	13,057
繰延ヘッジ損益	1	2
為替換算調整勘定	△269	△125
退職給付に係る調整累計額	571	662
非支配株主持分	4,178	3,187
純資産合計	122,035	113,463
負債純資産合計	361,575	339,156

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

連結損益計算書 (単位：百万円)

科目	当連結会計年度 自平成29年10月1日 至平成30年9月30日	前連結会計年度 自平成28年10月1日 至平成29年9月30日
売上高	1,009,095	973,818
売上原価	942,015	910,159
売上総利益	67,080	63,659
販売費及び一般管理費	56,887	54,360
営業利益	10,192	9,298
営業外収益	1,772	1,762
営業外費用	430	643
経常利益	11,535	10,417
特別利益	1,359	506
特別損失	1,017	106
税金等調整前当期純利益	11,876	10,818
法人税、住民税及び事業税	4,317	3,547
法人税等調整額	4	88
当期純利益	7,555	7,182
非支配株主に帰属する当期純利益	549	389
親会社株主に帰属する当期純利益	7,005	6,793

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科目	当連結会計年度 自平成29年10月1日 至平成30年9月30日	前連結会計年度 自平成28年10月1日 至平成29年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	10,757	11,238
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,626	△774
財務活動による キャッシュ・フロー	△5,074	△3,650
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△14	26
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	1,041	6,839
現金及び現金同等物の 期首残高	68,732	61,892
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	0
現金及び現金同等物の 期末残高	69,774	68,732

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

Point 1

## 連結損益計算書

### 売上高

得意先との関係強化及びLein Hing Holdings Sdn. Bhd.の株式取得による連結子会社化により、前期に比べて3.6%増加し、1兆90億95百万円となりました。

Point 2

## 連結損益計算書

### 親会社株主に帰属する当期純利益

営業機能の強化及び自社ブランド商品の拡販を図るとともに、業務の効率化や生産性向上に取り組んだ結果、前期に比べて3.1%増加し、70億5百万円となりました。

貸借対照表 (単位：百万円)

科目	当事業年度 平成30年9月30日現在	前事業年度 平成29年9月30日現在
流動資産	192,613	187,885
固定資産	104,019	92,450
有形固定資産	35,903	37,369
無形固定資産	3,189	3,015
投資その他の資産	64,926	52,065
資産合計	296,633	280,335
流動負債	172,950	166,261
固定負債	11,651	10,031
負債合計	184,601	176,293
純資産合計	112,032	104,041
負債純資産合計	296,633	280,335

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

損益計算書 (単位：百万円)

科目	当事業年度 自平成29年10月1日 至平成30年9月30日	前事業年度 自平成28年10月1日 至平成29年9月30日
売上高	685,066	674,048
売上原価	639,792	629,978
売上総利益	45,273	44,069
販売費及び一般管理費	36,445	35,355
営業利益	8,828	8,714
経常利益	9,825	9,754
当期純利益	7,290	6,821

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

# 会社情報

Corporate Data

## 会社概要 (平成30年9月30日現在)

名称	加藤産業株式会社
設立	昭和22年(1947年)8月22日
本社	兵庫県西宮市松原町9番20号
事業内容	総合食品卸売業、カンピー製品製造発売元
資本金	59億3,405万円
従業員数	1,036名

## 主要グループ会社 (平成30年9月30日現在)

会社名	事業内容	売上高 (百万円)
国内		
◎ 三陽物産(株)	酒類・食品卸売業	129,764
◎ ケイ低温フーズ(株)	低温食品卸売業	101,293
◎ ヤタニ酒販(株)	酒類・食品卸売業	57,895
◎ カトー菓子(株)	菓子卸売業	7,202
◎ 九州加藤(株)	食品卸売業	7,180
◎ (株)植嶋	菓子卸売業	5,121
卸売業		
◎ Lein Hing Holdings Sdn. Bhd.	日用雑貨・食品卸売業	641 百万MYR ※1
◎ Naspac Marketing Pte.Ltd.	食品卸売業	34,428 千SGD
◎ Toan Gia Hiep Phuoc Trading Co., Ltd.	食品卸売業	191,219 百万VND
◎ Kato Sangyo Vietnam Co., Ltd.	食品卸売業	223,080 百万VND
◎ 上海加産貿易有限公司	食品卸売業	129 千人民幣 ※2
△ 深圳華新創展商貿有限公司	食品卸売業	179,083 千人民幣

## 役員(取締役・監査役)及び執行役員 (平成30年12月21日現在)

代表取締役社長	加藤和弥	常勤監査役	相良広基
専務取締役	木村敏弘	常勤監査役	神月豊
専務取締役	山中謙一	社外監査役	山村幸治
常務取締役	太田尚史	社外監査役	森内茂之
常務取締役	中村考直		
取締役	菅公博	執行役員	小野聡
取締役	日比啓介	執行役員	西本忠司
取締役	打田雅俊	執行役員	明石誠
取締役	次家成典	執行役員	和田陽一
社外取締役	八十川祐輔	執行役員	金子潤一
社外取締役	海保理子	執行役員	松村努
		執行役員	井原太郎

会社名	事業内容	売上高 (百万円)
物流		
◎ マンナ運輸(株)	運送業	5,602
◎ カトーロジスティクス(株)	運送業	4,376
メーカー		
◎ 和歌山産業(株)	食品製造業	3,711
○ 兵庫興農(株)	食品製造業	1,185
外食		
○ (株)アドバンス・キッチン	飲食業	295
その他		
◎ 加藤不動産(株)	損害保険代理店業	223
◎ 加藤SCアジア インベストメント(株)	海外事業投資業	—

◎=連結子会社、○=持分法適用非連結子会社、△=持分法適用関連会社  
 ※1 Lein Hing Holdings Sdn. Bhd.の売上高はLein Hingグループの6ヵ月間の数字を表記。  
 ※2 上海加産貿易有限公司の売上高は4ヵ月間の数字を表記。

# 株式情報

Stock Information

## 株式の状況 (平成30年9月30日現在)

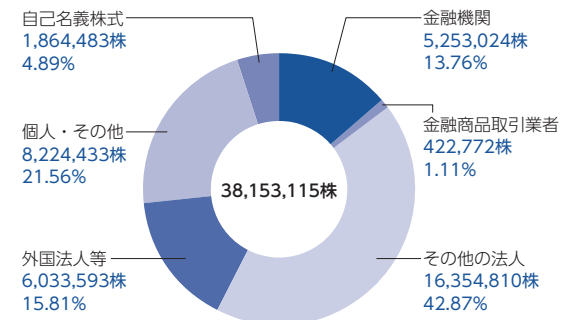
発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	38,153,115株
株主数	6,421名 (内、単元株所有者数：6,063名)

## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三井物産株式会社	3,153	8.68
住友商事株式会社	1,931	5.32
三菱商事株式会社	1,787	4.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,009	2.78
加藤和弥	953	2.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	935	2.57
株式会社加藤興産	850	2.34
キューピー株式会社	841	2.31
ハウス食品グループ本社株式会社	838	2.31
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	812	2.23

(注) 1. 当社は自己株式1,864,483株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。  
 2. 持株比率は自己株式(1,864,483株)を控除して計算しております。

## 所有者別分布状況



# 株主メモ

Information for Shareholders

事業年度 10月1日～翌年9月30日  
 期末配当金受領株主確定日 9月30日  
 中間配当金受領株主確定日 3月31日  
 定時株主総会 毎年12月  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同連絡先 〒541-8502  
 (お問い合わせ先) 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 大阪証券代行部  
 電話(通話料無料)0120-094-777  
 公告方法 日本経済新聞に掲載する方法により行う

## (ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。